威風堂々ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ2020・実施記録（第２回）

１．実施日：2020 年 1 月 11 日（土）13：30～15：30
２．場　所：伊都キャンパス・図書館
３．参加者
　応援団Ｏ　Ｂ：吉川　正
　　４回生：池内　明伸、那須龍太郎、
　　山内勇人、長砂まりも
　　２回生：今村竜平、柏木海翔、百合岡咲紀

４．配付資料
「日本人の美徳（概論）」
「礼儀作法の心とは」

５．日本人の美徳について
1）資料は「歴史から消された日本人の美徳　著者：黄　文雄」から抜粋した。
2）日本人に美徳が備わっていることは、３世紀の魏志倭人伝、１６世紀のフランシスコ・ザビエルの書簡、１９世紀にはアメリカの初代駐日公使ハリスの日記などに記述されている。
3）日本人の美徳とは、和、誠、勤勉、礼儀正しさ、忍耐、繊細などである。
4）配付した資料を、全員で輪読した。
5）誠というものは、フェアー精神に通じるもので、キリスト教国家でも守るべき規範である。その「誠」は、幕末の志士たちに「至誠」という心の内から湧き出すやむを得ざる真情と、外に向かう行動を一致させようという、思想をもたらした。志士たちの実践的な「誠」のエネルギーが、明治維新へと時代を動かしたのである。
6）「誠」が応援団の中核概念であろうと、吉川は考える。
7）「誠」の気持ちの強い人が、応援団に集合しているのでもある。
8）世間では応援団について「熱い集団」、「リーダーとなる人材」などの期待がある。
9）日本人の美徳を理解して、団員自身が「日本人としてのアイデンティティー」に気付いてくれることを期待する。

６．礼儀作法について
1）「こども礼儀作法」という本から抜粋した「礼儀１０則」を輪読した。
2）九大応援団の団訓は、「礼儀徹底・約束貫徹・時間厳守」である。
3）礼儀徹底という言葉はあるが、礼儀の内容については知らされていない。
4）日頃の行動を見ても、「押忍」の挨拶はあるが、それ以外では礼儀正しいとは言えない。
5）これまでの人生で「礼儀」というものを教わっていないのである。
6）そこで威風堂々で「礼儀作法」を取り上げている。
7）次からは、威風堂々の終わりに礼儀本１０則を実行して、身に着くようにする。

７．次回（第３回）の予定
1）2/8（土）13：30～15：30　場所：九大伊都キャンパス　図書館
2）テーマは、「大学応援団の歴史と役割」
3）2/29（土、4 回）、3/3（水、5 回）、3/5（木、6 回）、3/10（火、7 回）、3/21（土、8 回）

以上